

# 企業との共同研究、 学会発表を経て アツプデートされた キャリアビジョン

国際情報学部国際情報学科3年  
東京都立上野高等学校出身

ぐんじ たいが  
郡司 大河



やリモートワークの需要が高まることが予想されます。

このような背景からこの研究テーマを選定し、紙とデジタルでは読み手にどのような違いをもたらすのかを、テスト形式のアンケートと視線追跡装置、脳波計測装置を用いて分析しました。過去に、媒体による目の疲労度の差や、読む速度および理解度を調査する類似研究があり、そのアプローチを参考にして今回は世代別の比較を行いました。結果的に、紙媒体と電子媒体では読み取りの時間において若年層、中年層には大きな違いは見られなかったものの、高齢者は紙での読み取りが早く、電子版での読み取りに時間がかかることがわかりました。

このことから、高齢者にメッセージを届けたい場合にはデジタルよりもアナログの資料を渡した方が、内容を注意深く読んでもらい、正しい理解を得てもらうのには有利だとわかりました。

また研究の副産物として、高齢者は図

を見るよりも文章を読む方が比較的得意であり、わかりやすさを追求しようと安易に図を挿入しなくても、文章の羅列によって理解を促せそうだという推論も得られました。結果的に、アナログよりもデジタルの方が資料の読み取りに適しているわけでも



HCD研究発表会での発表の様子

なく、その逆でもないことが明らかになりました。紙媒体の方が電子媒体よりも理解度が増すという仮説も一概に言えるものではなく、読み手がどのような年齢層なのかがかぎになっているとわかってきました。

最終的に、紙媒体に慣れている高齢者に対しPR広報のように広く周知させることが目的のものは、チラシや貼り紙といった媒体を利用するほうが効果的であると結論づけました。

今後も引き続き飯尾ゼミにてUX研究に励む予定ですが、実は新たなプロジェクトにも参加しています。

それは、日本と海外の高校生をターゲットにした異文化交流をより良い環境にしていけるものです。今回のデジタルとアナログのUXの比較で得た知見とデータ分析を駆使して、高校生たちの間で生まれた問題や壁を解決していく予定です。

私の将来のキャリアビジョンはITを通じて世の中に存在する問題や格差を是正

6月5日(土)、HCD研究発表会にて「紙媒体と電子媒体の資料の読み取りにおけるUXの比較」視線計測装置を用いた実験」について発表しました。発表の中では非常に多くのことを学ぶことができ、有識者からコメントをいただいたり問題解決意識の高い同世代とバーチャルではありましたが交流したりすることができました。

本稿では、HCD研究発表会で発表した研究内容と今後の学習計画、キャリア形成について執筆します。

学太で発表した研究は、トッパン・フォームズ株式会社と国際情報学部飯尾ゼミ所属の一部のメンバーで行いました。昨今、電子書籍をはじめ学校でのデジタル教科書などデジタル媒体の読み物が普及しています。大学の講義においても多くの授業でデジタル形式の資料が配布され、テキストの読解やテストの受講もパソコンで行われているという現状があります。さらに、新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン授業

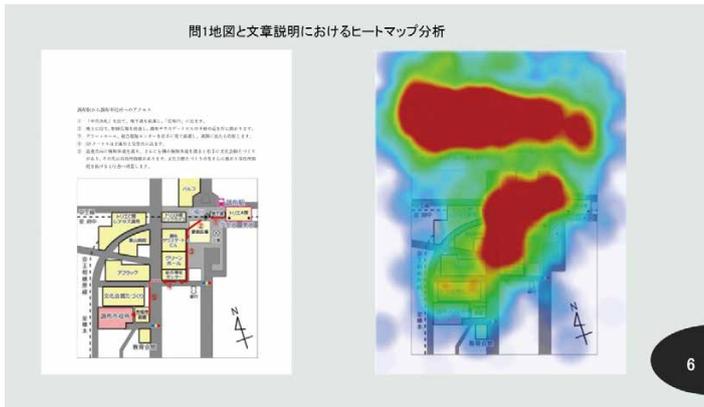


視線追跡装置によるデータ収集

することです。現在取り組んでいる異文化交流プロジェクトの経験を生かし、実験から得られたデータを分析してソリューションに生かすといったような、国内外を問わず活動できるITコンサルタントになりたいと考えています。

具体的には、クライアントにただ商品や解決方法を提示するのではなく、CO・Innovation（共創）していくことで顧客と一緒に問題解決にあたり、提案したソリューションを自分から発見できるように後押しできるような人材になりたいです。

さらには、ICTソリューションの事業分野で、新しい日本社会を創造していくプロジェクトマネージャーとして活躍したいです。顧客の要望やニーズをシステムと



視線追跡装置による分析

して具体化する業務に従事することで、新しい社会を協創していき、安心・安全・快適な人々の暮らしを支えていきたいです。ゆくゆくは国内にとどまらず、海外にも影響を与えられるよう成長していこうと考えています。

こういった解決策提案には相手を納得させられるだけの説得力あるFact（事実）をLogical（論理的）に語ることが重要なので、論理的な思考を身につけ、ITの力を駆使して課題を発見して解決する力を養うための素養も、このiTLで学んでいきたいと思っています。

\*1 人間中心設計（HCD）やユーザーエクスペリエンス、ユーザビリティに関する専門の研究発表会  
\*2 ユーザーエクスペリエンス（ユーザーが製品を通じて得られる体験）